

すて〜じ通信



発行 令和元年12月 第26号

〒052-0014 北海道伊達市舟岡町334番地9 あい・ぶらざ1F

社会福祉法人北海道社会福祉事業団

胆振日高障がい者就業・生活支援センター すて〜じ

〔伊達〕Tel / 0142-82-3930 fax / 0142-82-3933

〔苫小牧〕Tel / 0144-56-5119 fax / 0144-56-5344

E-mail / stage@dofukuji.or.jp

『気がつけば師走…』

各地ではブラックアイスバーンによる自動車の衝突事故が聞かれるようになった師走。ツルツルの道路ゆえ、移動時間にも心にも余裕を持たなければと分かっているのにいつも出発直前になって忘れていたことを思い出し、ドタバタと落ち着きがないまま走り出す…。日々、スタッフには多大なるご迷惑をお掛けしております。

さて、そんな中、すて〜じに9月と11月にお二人の強力なスタッフが仲間入りしました。酒井さんは、今年度受託した事業「障害が窺われる生活困窮者等への支援」で就業支援担当者として伊達にデスクを置き、小野寺さんは、生活支援担当者として苫小牧で勤務を開始しております。お二人ともに、芯が強く、そして優しく笑顔が素敵な方たちです。これから研修会や会議等でお目にかかる機会も多いかと思しますので、従来スタッフ同様よろしくお願いいたします。



胆振日高障がい者就業・生活支援センターすて〜じ
センター長 今野さおり

新人職員を紹介します!!

9月1日よりすて〜じ伊達に異動になり、就業支援担当として働くことになりました。酒井春美です。福祉としては素人の私ですが、人生経験を活かし母親の目線で障がい者の方達と関わりたいと思っています。一人ひとりの障がい者の方達に寄り添いながら何が必要か、どんな支援をすることで住み慣れた地域で生きがいを持って働き、生活ができるかを他の機関と考慮して、支援していきたいです。



「仕事をするなら福祉がいい」念願叶い11月よりご縁を頂きました。すて〜じ苫小牧の小野寺亜希子です。日々、諸先輩方よりご教示頂き多くの学びを得ながら勤務をさせて頂いています。他事業所の皆様とはお会いできる機会が限られますが来所の際は是非お声かけください。よろしくお願いします。



事業所紹介リレー

【西胆振】

NPO法人 蒼空（そら） わく・WORKランタナは、就労継続支援B型の事業所で、平成23年11月に開設し、今年で8年になります。

事業所の名前の由来となる「ランタナ」とは、熱帯アメリカ原産の花木で、和名では「七変化」と呼ばれるように小さい花がまとまって咲き、徐々に花の色が変化していきます。この花の様に、みんながそれぞれの色を出し合いながらいろいろ変化し、大きなまとまりとなって活動していくことが出来る様に、そしてわくわく楽しく仕事（WORK）を続けることができる職場となるようにと思いこの名前をつけました。

事業所があるところは、室蘭市の陣屋町です。昨年閉校となった陣屋小学校校舎を購入し、校舎の面影を残したところで作業をおこなっています。

作業は2班体制でおこなっていて、第1製造・加工や小麦粉等の小袋詰め作業（他）力の丸干しづくりなどの生産・販売の作業のチカを確保するのに、時期になると天候

ますので、この時期の釣り情報は欠かせませんし、も釣果状況は記録されています。（決して趣

第2作業班は、シフォンケーキ・チーズをおこなっていて、商品は事業所店頭だけではなく、室蘭及び伊達の道の駅でも販売しています。昨年から始めた食パンは「みみまで美味しい」と好評で、市内だけではなく、伊達や登別からわざわざ買いに来てくれる方もいるくらいです。

あと、当事業所の最大の特徴は営業部長蒼空くんとその部下たち（犬3匹）がいることです。犬を苦手としていた人たちも日々触れ合ううちに抵抗なく接することが出来るようになっただけではなく、おやつをくれたり昼休みの散歩に行ってくれたりもしています。

わく・WORKランタナは「仕事はやりがいがあるもの。そのためには楽しくなきゃ！」を合言葉に、ランタナの花言葉にもあるとおり、仲間を大切に「協力」しながら活動をしています。



作業班は主に企業からの下請け作業（保冷材の「ポチのおやつ」という犬用ジャーキーやチをおこなっています。ポチのおやつの材料とな等を見ながら、釣り（作業?）に行ったりもし

ちろん職員のスケジュール表には昨年の釣場や味の延長ではありません！）

ケーキ等の焼き菓子、そして食パンなどの製造



【東胆振】

「多機能型事業所わーくらいおん」は就労移行と就労継続支援B型を運営しております。主な作業内容は雑貨作り（羊毛フェルト・アクセサリー・木工・編み物等）、パソコン作業、食肉の発送作業、封入作業（年に2〜3回）、ギフトBOX作り等を行っており、作業を通して人間関係の構築や社会的なマナーを身に付け、社会自立を目標として日々取り組んでいます。

利用者さんのご希望に合わせて作業を選んで頂いていますが、一人一人の特性に合った作業の提案と支援も行っています。

事業所と隣接する雑貨「petit rept（プチレピ）」では利用者さんが製作した商品を販売しています。利用者さんにとっては自ら手掛けた作品が売れたことの喜びや製作への意欲に繋がるように、また地域の方々に対しては道内40名以上の作家さんの委託販売も行うこ

とで障がい者福祉に
ていただくことを
接客を希望の利用
とも可能です。
少しでも楽に前向
送ることができる



施設を気軽に利用して福祉施設への理解を深め
目的にしている店です。

者さんには実際に接客の体験を行ってもらうこ
日々将来の不安を抱える利用者さんの気持ちが
きになれるように、そして社会生活を安心して
ように支援を行っていきたくと思っています。



【日 高】

桜並木や名馬が多い新ひだか町に位置し、夏は涼しく冬は雪が少ない穏やかな気候で住みやすい地域に、指定就労継続支援B型事業所「ピーすふる」は、令和元年8月に開設しました。

定員20名、作業内容はクリーニング作業、ハンドメイドのアクセサリーや雑貨等の製造・販売、ボランティア活動、各種イベントに最適なプレゼントとしてキャンディブーケやポップコーン、加工食品の販売をしています。

いずれ農業も行っていく予定です。

利用者様には、就労に必要な知識や、やりがいを持った充実した生活が送れるように、また皆様の主体性を大切にしながら支援していきたいと考えています。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。

特定非営利活動法人 HFassociation

指定就労継続支援B型 ピーすふる

〒056-0017

日高郡新ひだか町静内御幸町 1-1-57

Tel/fax 0146-49-2218



《会議等報告》

平成31年度 第1回胆振日高地区障がい者雇用支援地域合同会議

- ・令和元年6月18日（火曜日）午後1時30分～ 参加者57名
- ・苫小牧市福祉ふれあいセンター1F研修室

- 議題
- 1) 障がい者雇用支援の最近の動向について
 - 2) すて～じの平成30年度実績報告及び平成31年度支援体制について
 - 3) 3地区の就労支援の現状及び課題について
 - 4) その他



ハローワーク苫小牧の吉川統括より、障がい者実雇用率のカウント方法についての説明と苫小牧地域のハローワーク登録状況について話がある。登録については精神障がい者の登録割合が増えているとの事。ハローワーク室蘭の佐藤統括からもハローワーク登録状況について説明があり、前年度より有効中の人数が減少して就業中が増えているが精神障がい者の雇用率が伸び悩んでいるとの話がある。

「はたらく仲間のつどいin苫小牧」



8月22日（木）18:00より、苫小牧地域福祉ふれあいセンター体育館にて「はたらく仲間のつどいin苫小牧」を開催しました。28名の参加をいただき座談会とレクリエーションを実施しました。座談会では「就労に向けての準備」をテーマに、会場のみなさんと和気藹々とした雰囲気の中やりとりをしながらすすめていきました。レクリエーションは野球盤ゲームとぼっちゃ、を行いました。4チームに分かれ同時進行にてゲームをすすめていきました。野球盤ゲームは「かつ飛ばせー!!」の心意気でバットを振ったはずがアウトゾーンに邪魔されてなかなか点数が入らなかったり、かと思えば、当たりそこなったはずのボールが2塁打になったりと思ってもよらない展開にわくわくドキドキの連続です。ぼっちゃは次々と起こるミラクルショットに大きな歓声とガッツポーズでとても盛り上がりました。

仕事が終わってからの「はたらく仲間のつどいin苫小牧」でしたが、たくさんの皆様にお集まりいただき盛り上げていただいたことを、大変ありがたく思います。次回も多数のご参加をお待ちしております。

ピアサポート集会

日時 令和元年10月1日(火) 16:00～17:00

場所 苫小牧地域福祉支援センター1F会議室

参加者 25名



今年度の新規事業で始めた「ピアサポート集会」のご紹介をします。

ピアサポート集会は一般就労者の経験談を聞くことで、一般就労への意欲を高めたり、就労している方は働き続けるためのヒントを得ていただくための場として開催させていただきました。

今回は苫小牧での開催なので、ホクレン苫小牧支所管理課勤務の村上大貴さんを講師に招いて開催しました。

村上さんは広汎性発達障がい、ADHDを持っていながら大学卒業後一度一般就労にチャレンジしましたが、業務でのマッチングが合わず退職した経験をお持ちです。

その後デイケアでのリハビリをしつつ就職活動をし、HW 主催の雇用フェアでホクレンでの就職を決め、管理課内での配慮をいただきながら現在も働き続けているといった内容でお話いただきました。

時間が無い中でしたが、会場内からは質問等がでて活気がある内容となりました。各地で開催予定ですので、興味のある方がいらっしゃれば是非参加をお願いします。(MI)

企業支援セミナー(苫小牧)

日時: 令和元年10月15日(火) 15:00～17:00

場所: 総合サポートセンター2F研修室にて

内容: 講演「これまでの障がい者雇用で感じたこと」

株式会社ヨシダ 代表取締役 吉田 良弘 様

行政説明「障がい者の雇用支援制度について」

苫小牧公共職業安定所

統括職業指導官 吉川 仁啓 様

「障がいの特性について」

胆振日高障がい者就業・生活支援センターすて～じ

センター長 今野 さおり



今年度はじめて行う事業で、障がい者雇用を予定または雇用中の企業様に対し実際雇用している企業様の事例や障がい者雇用制度、障がい特性など知っていただきこれからの雇用に役立てていただきたく開催いたしました。

(株)ヨシダの吉田社長様からは、現在5名雇用しているが5名の特性を踏まえて各業務を設定していて、皆さん紆余曲折はありながらも継続して働いているお話をいただきました。

苫小牧公共職業安定所の吉川統括からは、障がい者雇用をする上での制度活用について説明いただきました。

すて～じ今野センター長からは、知的、精神、発達の基本的な特性や一般就労の事例等説明いただいています。

今回お忙しい中、19名ほどの参加者をいただき、終了後のアンケートでは「大変参考になった」「定期的に開催してもいいのでは」との声をいただくことができました。今回は時間が無く会場からの質問等を受けることができなかったのですが、次回は2月中に開催しもっと掘り下げた内容にできればと考えております。(MI)

あとかき



機関紙発行がすっかり遅れてしまい、原稿をいただいた事業所様には大変ご迷惑をおかけしました。10月、11月とイベント等で時間を取られたこともありますが、風邪により休んだり、ナカポツセンター北海道・東北ブロック会議に出席のため盛岡へ出張だったり、さらにその直後風邪をぶり返しつつ数か月前に治療を終えた虫歯の膿が残っていたらしく、顔が変形するほど腫れ上がるなど(痛さのあまり数日断食状態でした...) 散々な日々が続きました。

もう年末ですが皆様も体調にはくれぐれもご注意ください。元気によい年を迎えましょう!! (MI)

